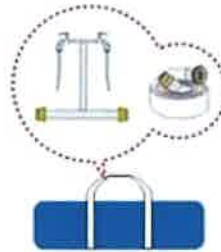


「ふっQすいせん」は、これまで整備してきた「いつでもじゃくち」と比較して、低コストかつ配水管の耐震化の完了を待たずに設置することから、各地域の方の身近な所に、より早期に給水栓を整備できるというメリットがあります。

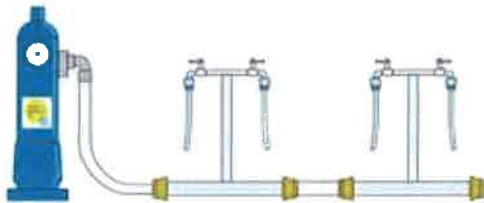
普段は使用できないけど、いざという時は頼れる存在だね



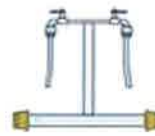
平常時



学校で保管



地域で開設



継手2箇所ですぐ組み立て完了

3. 「ふっQすいせん」の整備状況と今後の取り組み

平成29年末時点で、市内7箇所で「ふっQすいせん」が完成しました。
設置:西灘小(灘区)、湊小(中央区)

大沢小(北区)、君影小(北区)

大日丘公園(長田区)
白川高尾公園(須磨区)
塩屋北小学校(垂水区)

さらに、来年度以降は、防災福祉コミュニティごとに1箇所の給水拠点の整備を目指し、毎年、約10箇所の整備を予定しています。

このデザインは地域の方と相談して決めたよ



360度展開図



4. いざという時のために

水道局では自助・共助・公助のバランスの重要性から、災害発生後、地域主導で開設できる環境づくりを進めています。

普段からお近くの災害時給水拠点での給水訓練を通じて、災害

